

# 有宵会だより

第86号  
発行所  
特定非営利活動法人  
岳易館・有宵会  
編集 広報部  
松戸市新松戸1-64

## 九星と易断による

### 四月・五月の運勢

気学では辰四月

四月五日（清明）節入り

|       |   |   |
|-------|---|---|
| 生 気   |   |   |
| 2     | 7 | 9 |
| 1     | 3 | 5 |
| 6     | 8 | 4 |
| 天 道 破 |   |   |

ア  
気学では巳五月  
ア  
天 道

|   |   |   |
|---|---|---|
| 1 | 6 | 8 |
| 9 | 2 | 4 |
| 5 | 7 | 3 |
| 破 |   |   |

生 気



## 一白水星の人の運勢

四月筮―雷地予の九四

五月筮―地風升の初六

四月は新たなプランを待つ。現状維持に努めるのが安全。積極策は空回り、仕事は共同が良く中旬に実績を積む。早合点と独断は避ける、目下の相談受け助言。金銭苦心。疲労、腰痛、腎臓に用心。五月の風は快く計画に着手。基礎と経験が物を言う。情報に迷わずに意志を貫くが見通し暗ければ静観。情愛は斜に見ないで素直に。出費多しのど、風邪、軟便対処。

## 二黒土星の人の運勢

四月筮―地沢臨の六三

五月筮―雷火豊の六二

四月は予定が多く忙しく前向きに処理。交際を巧みにするより誠意で信用を高める。行動は若さ一杯で頑張るならば吉。トラブルに對し好い子でいたい。金運・愛情慎重。気管、肝胆、足腰の養生。

五月晴の下に活気が出る。物事は脇道に入らず本筋を歩む。家計は派手にならずムダをしない。わが家のムードを高め笑い顔を招く。発言注意。視力、歯、咳、肺に聞く。

## 三碧木星の人の運勢

四月筮―水天需の初九

五月筮―山沢損の上九

四月は中宮、いろいろな事柄は急がず様子を見て答えを出す。綾模様の様に複雑さを含む。重い問題は避けて通る。下旬の好機を逃しやす。書類やカードなど参照す。食道胃、腰膝、微熱など。

五月は始めより終りが良いので楽しみ。知人の繋がりが固い。交渉や商談は破れてから纏まる。家族と会話必要、財布は締める。食事はウマイ。

## 四緑木星の人の運勢

四月筮―雷水解の九二

五月筮―火沢睽の六五

四月は自分のペースに

## 五黄土星の人の運勢

四月筮―雷天大壮の九三

五月筮―天火同人の九三

四月、最近の繁忙を減らして楽をする。休日は英気を養うによい。仕事や対人関係はのんびりと和でいく。言葉足らずで損をする。中旬に安請け合いをしたり、出費多し。口腔、胃重、打撲用心。

五月は目標に向けて進める、一歩二歩と階段急がず。仕事は共同で分担、専門技術が必要などき。上旬に噂、下旬の出費に驚く、目配り忘れず。腹もたれ、腓、持病再発。

## 六白金星の人の運勢

四月筮―風火家人の初九

五月筮―地火明夷の九三

## 七赤金星の人の運勢

四月筮―雷山小過の六五

五月筮―風雷益の上九

四月は吉凶が交錯しやすい。出る杭は打たれるので用心。書類や押印のミス、各種の管理不足が表面化しやすい。記録やレポートが残す。文化と芸術の刺激が楽しみ。歯視力、血流血圧、頭重し。

五月、前月の続きで用件の処理、後手に回ると苦労が多い。対人面は上下の關係に気遣いが続く内密の話題もあり、古い習慣や人情を大事に守る。足部、骨盤、腎臓など。

## 八白土星の人の運勢

四月筮―地雷復の六五

四月は気忙しく振る舞うでしょう。落着く場所

で茶を喫する。何かと頼まれ上手で断れず。仕事は続きものが多く向上努力のとき。家庭内に嬉しいニュースに財布磨く。疲れ、肩膝、花粉症対処。五月、南門の前途に雲かかる。見通しがハッキリしない。慎重な判断が大切、仕事は地味、金運は素材か新商品買う、わが家で二度の探し物あり。目鼻、歯、動悸、筋系。

## 九紫火星の人の運勢

四月筮―雷沢帰妹の初九

五月筮―山火賁の六二

四月は現状の生活を維持、変化を求めず平穩に方針は几帳面さと信頼關係を珠玉とする。職場にムードづくりで能率を図る。わが家に濃やかな愛情を表わす。修理費あり。

五月は伸び伸びと進めてみる。リフレッシュ感覚を生かす。近い将来への期待、自立への機会が生まれる。仕事に新風を入れ改革の意欲を示す。

皮膚、神経、筋肉疲れ。

福田 有宵

## 一月有宵会報告

山本 悠里帆

## 一月有宵会報告

平成三十年一月二十七日  
(土) 足立区勤労福祉  
会館ブルミエにおいて、  
新年一月の有宵会が開催  
されました。

司会は佐藤宗眩先生です。  
福田先生の新年のご挨拶  
に続き、菅原有恒先生か  
らお話をいただきました。



## 福田先生

皆さんもこの有宵会から  
どんな社会に出て、正  
統なる易学の普及を進め  
て頂きたい。

この会では、中身があり、  
見通しがきき、易がどう  
いう風に生かされるかと  
いうことを考えて行きた  
いと思います。

## 菅原有恒先生

昨年の卦は、水沢節から  
坤為地に之くものでした。  
五月前半に腰が痛くなり、

五爻の時手術をしました。  
そういう訳で、ついこの  
間、病院で雪を見ました。  
その時思ったこと。

易は人を見る・心を見る。  
それだから、自分の心を  
真っ白にしなければなら  
ない、ということですよ。  
どうしたら真っ白にでき  
るか。

拘(こだわる)不偏  
(かたよる)

心 囚(とらわれる)  
こうありたい。

振(ブレル)不媚  
(コビル) 人

諦(アキラメル)  
自分はこういう方向で

ものを見ていくんだとい  
う揺るがない心。相手に  
よって言う事が変わらな  
い人。物事をあきらめな  
い心。

「諦聴」とは相手の言う  
事をしっかりと聞くこと。  
雪を見て、相談を受け  
ての時、心をどのように  
整えていくと良いかを考  
えてみました。

平成三十年、九星に  
おける年運について

福田有宵先生

・どんなことが起きる  
か？

・どう過ごしていくか？

宿命は変えられない  
が、運命は変えられる。

命式は母体で変えられな  
いが、九星は変化がある。  
運気の判断においては  
どういう根拠で運を捉え  
るか、が大切になる。

## ①同会・被同会法

## ②遁甲法

運氣の巡りはどの位の  
期間か？

運とは時間の連続である。  
二年・三年の流れの中  
でどう動いていくか？

## ③五行の相生・相剋法

## ④对冲法

对冲になると、相手の方  
に目が行く・気にする・  
関係が深い・象意が表わ  
れる。

## ⑤傾斜法

個人の問題として取り入  
れる。

\*まず、全体運を一言  
で捉える。

\*運勢は、盛衰・消長・  
吉凶・調、不調

(ここに年盤)

一白水星

乾宮に同会。

五黄土星が被同会。  
目上の引立てあり。ス  
ボンサーがつく。協力者  
が表れる。(立場上で上  
の人)他からの力が与え  
られる。

乾宮に回座で、積極的・  
熱意あり。自分では能力  
があると思う。自分の能  
力を活かしたい。学問的  
には吉。

五黄が自分の宮に乗っ  
ている(被同会)ので、  
整理や用意がまだ充分に  
できない。

本命七〇%・月命三〇  
%とし、相生・相剋でど  
ちらの星が動くか？

去年は中宮に回座し、  
縛りがあり思うように行  
かなかつたが、今年はや  
りたい事がウズウズして  
いる。前向きな話をする。

健康面  
伸びて居るときは、健  
康・丈夫である。

仕事をしている人は、  
過労に注意。

心臓・頭部・腎臓・泌  
尿器関係。

二黒土星  
兌宮に同会。

六白金星が被同会。  
気が楽になる。ひと休  
みしたいと思う。趣味の  
勉強など、楽しみや余裕  
を持つて生活をしたい。

言葉に気を付ける。自  
我を出した余分な一言で  
失敗をしやすい。

父方との付き合いあり。  
健康面  
外へ出て治したいとな  
れば、精神的なものが良  
くなる。

肺・呼吸・気管支。食

べられる「寝込まない。  
三碧木星  
艮宮に同会。

七赤金星が被同会。  
坤艮の線「土性の変化・  
引き出しが深いところ。

改善・改革する「前進  
する。今までのことがイ  
ヤになる。自分から変化  
する。なぜ転職したいか？

将来の事を考える「相  
続・親子関係の繋がりが  
整理整頓。自営の場合  
時間をかけてきたもので  
ない。

仕事をしたい時、  
(被同会七赤の影響で)  
友人から話が出る。この  
話に乗って良いかどうか？

親戚・知人・縁者との  
付き合いで、昔の事を言  
い出されることがあり。感  
情の波が出やすい。

健康面  
消化器系に気を付ける。  
腰痛・皮膚疾患。

四緑木星  
離宮に同会・暗剣殺付き。  
八白土星が被同会・歳破  
付き。

今年一年は、用心して  
行くこと。  
離宮に回座し、名誉・  
地位・立場が良くなる。  
暗剣殺で、立場上の苦勞・  
失敗や希望がかなえられ

る所に待ったがかかるな  
ど。

\*書類・印鑑は厳重に管  
理する必要あり。

\*論文・研究発表は誤解  
を受けやすい時。

\*前からの友人・知人と  
の付き合いがどうあつた  
か？

\*住居について、出費・  
散財に注意。

\*騙されやすい(うつか  
り)。

\*階段や高い所から落ち  
やすい(下を見ない不注  
意)。

健康面  
循環器系統(血圧・心臓)  
に注意。

歯・目が痛くなる(八白  
被同会)。

被せた歯が  
ダメになる、良いものを  
作ること。

五黄土星  
坎宮に同会。

九紫火星が被同会。  
慎重にすること。今年  
は寂しい思い、愛情が必  
要。

坎宮で忍耐する所。  
「あと〇ヶ月待ちましょ  
う」という言い方。自分  
が滅入るような状況。

家の中の暗い場所は、  
照明を考える。

健康面  
足・腰・骨盤・腎臓・



泌尿器・体温・血流。

被同会が九紫なので、医療を得られる・自分ないものを他から受けとれる。

六白金星

坤宮に同会。

一白水星が被同会。

同会・被同会とも六白と相生なので、気分は良い。

再会。古い人の呼びかけに意味あり。古いものに幸せがある。今年はこの運に従って行つて幸せになる。

去年は動けずに、思うようにならなかった。今年は安定路線をとり、来年からの運を呼び込む準備をする時。

堅実・基礎運でこれから先を望む所。来年・再来年と上昇するとき、どうしたいか？

家庭をうまくまとめること。実家の事・家族の事。

月命などを見て、うまくいかないという人も、目下の面倒を見ること。（頼んで来る）

坤宮は、特に女性に問題が出てくる。日常生活の変化など。坤艮の線上は身内との縁が出る。

健康面

坤宮は食べられるところ。健康になれる。食生活の改善。

胃とその周り。持病の再発に注意。

七赤金星

震宮に同会。

二黒土星が被同会。

積極的に行こう！やりたいこと・しなくてはならない事をやる。労して益なしでも、動くこと。

後ろを見ない。開発・開拓。背景がないとうまくいかないが、やつて行こう。

精神的な疲労あり。健康面

神経が過敏になる。足のスジ・こむら返り。

胆のう・肝機能・アレルギーによる皮膚疾患。虫刺されでも皮膚に炎症が起きやすい。

気管支・食道で誤嚥から肺炎になりやすい。

八白土星

巽宮に同会・歳破付き。

三碧木星が被同会。

信用を三年前から培ってきた。（これをやって来なかった人はダメ）

信用を大事にする。実績が上がっているの

で今まで道理の方針で行く。しかしいつものペー

スでは成績が上がらない。倍の力を使って、成績が出る。

気分転換をしたくなる。情報が増え入ってくる。

巽宮・離宮はフルイにかけるところ。

健康面

\*風土病・感染症

\*消化器系（小腸・大腸）

\*食道・気管支

\*腸骨・骨盤・婦人病

歳破付きなので、風邪を引くと長引く・治りづら

い。他のものを勧められて、薬を中断しやすい。

手当てがザツになりやすい。

四緑木星に被同会・暗剣殺付き。

盛運の年。変化の年。八方に耳ありで、惑わ

される。南・東南・北からの話は、厳重に戒めるように。

他人に噂をされる。暗剣殺付きで、悪いウワサ。

これはいつの時の古いものか（坤宮・三年前）どうであったか？

中宮では、すぐには終わらない、一年位は用心

が必要。次に暗剣殺が付いた時。ルーズになりやすい。

五黄に支えられているので、運が強い。粘り強い・集中力あり。生活に

対する意欲があり、人生をしつかり歩む。アイデ

アを持っている。火災に注意。

健康面

消化器から来る、食あたり・食中毒。薬からの

中毒も用心。においに敏感になる。

平成三十年は？

国運

風火家人 九五

国は六白で見る。坤宮にいて安泰。平穩に治めよう・風波穏やか。

天皇陛下の譲位も、引きぎわよし。

憲法改正の動議は？火天大有の九三から

火沢睽に之く 大有で論議はされるが、睽で未熟

五爻のところ（秋）で動議が出されるのでは？

株価

風雷益 六四

全体的に勢いあり。銘柄による。

景気 雷山小過 初六

経済そのものを押し上げる材料が減って、景気

も下降気味になる。

地震

沢地萃 六三

四・五爻ならば強震だが、三爻なのでそれほど

ではない。三爻は巽の主爻・東南と見て、太平洋

側か。萃

湖。的とみる。火山系・山岳・

台風

沢火革 上六

革は内容が改まる。つまり小さく生まれても大

きく育つ。台風の様子が今までと変わる。一五

二〇位生まれ、どれが大

きくなるか。兌の主爻をさし、西の方に被害あり。

火山

雷風恒の九二で雷山小過に之く

恒で新しい噴火はない。従来の火山で今までどう

り（二爻）の噴火となる。

世界情勢 米国（トランプ政権）

坤為地 上六

実力は伸びない。政策が良くない。旧に戻る。

工業関係は今好況だが、TPPの関係で、頭

打ちになる。

ロシア

沢火革 六二

内部でゴタゴタが起きやすい。新しい政策を打

ち出さなくてはならない時。人事の入れ替えがある。

中国

山沢損 六三

強権的な手法で、上層部の意向を押し通す恐れ

あり。国民は何も知らされないとい、強い反発が出

北朝鮮

坤為地 初六

大地からの収穫は無い。国内問題・民生の不満。

政策を転換してくる（三〇四月頃）が、威嚇

はあいかわらずする。国際テロ

雷天大壯 九三

大きな危険あり。

最後に、参加者の月笠の解説をして頂きました。

月笠は、日常生活を主にみていきます。

大変参考になりました。



新春初参り

福田 有宵

有宵会の初参りは、毎年二月にしますが、二月十三日（火）武蔵一宮の氷川神社様へ九十二名の方々と共に参拝を致しました。



当日は気温が上り暖かく、青空に白雲三つ四つが浮かび、境内の御神木に爽やかな小風が吹く日和でした。

北陸では大雪が続く、国道では数多くの車両が吹雪で立往生、また日常生活者には買出しが出来ないなど大騒ぎでしたが、関東地方に落ち着きがあるのが幸いでした。

この日を選んだのは、一月五日、氷川神社へ初参りの可否を調べたところ、易卦は艮為山の六四を得ました。

艮の卦辞に「其の背に艮（とど）まり。其の身

を獲（え）ず。其の庭に行きて其の人を見ず。咎なし。」

其の背に良まりとは、人体の動くところは全面の目、口、手足であるが、背中では動かないので止まるとし、背は欲望がなく、無私無欲の意味がありま

す。占的は、お参りの可否ですから、ここは無心になつての参拝です。六四の爻辞は「其の身に良まる」とするので、現在は止まり次の機会を待つことになりませんが、まず其の庭に行きての辞が、参拝への心構えがわかります。

象から見て内卦艮のわが家を出て、互体（三・四・五爻）の震は参道であり、それから六四の境内に入ることになるので道順が示されているのであるほどと思います。

本卦の中で決め手となるのは、四爻から上爻の位置の互卦約象である、山雷頤ではないでしょうか。拝殿から本殿への姿形となるので、たいへん分かりやすい卦を得たことは、神意からの啓示と

感じられた次第です。他に有志からのお参りの可否は天雷无妄の六三

の爻辞、

「无妄の災あり、或いはこれが牛を繋ぐ。行人の得ものは邑人の災い。」

无妄の卦は、人為を尽くして手を打つより、時を待ち時の動きに従うのがよく、成行に任せていく判断が大事といわれています。進めるより保つのが自然の理となるので次回の時を待つことが自明です。

さて参拝日について、上旬から中旬へと五日程選んでみましたが、二月十三日が好日であるという、火地晋の六五を得たことで内定。爻辞の象伝に、「失得恤（うれ）うるなかれ、往きて慶びあるなり。」

晋は進なりといい、また太陽が地上に現れた象であるので、当日は順調にいくものと予断出来たわけです。

武蔵一の宮・氷川神社は関東を代表する神社で二百八十社以上ある氷川神社の総本社であり、明治元年の明治天皇は東京遷都により、武蔵国の総守勅祭の社と定められたとのこと。

大宮という地名も氷川神社に由来し、大いなる

宮居から名付けられたそうです。

ご祭神は須佐之男命、稲田姫命、大己貴命で、二〇〇〇年有余年、第五代孝昭天皇の御代三年四月末の日の創立と伝えられています。

毎年初詣には二〇〇万人以上の参拝客で賑わうのこと。大宮駅から参道に入り社殿まで二キロに及び、日本一長いといわれています。



前日十二日の夜、⑥テレビで氷川神社のテレビ放映があり奇しき縁を感じたわけですが、縁結びのご神徳を授かるのお話があり、興味を深めた夜でした。

氷川神社様とご縁を結んでいただいたのは、飯田橋教室の折原啓子さんです。権宮司・東角井真臣先生とご親戚なので、いろいろとご便宜を図ってくださいました。ここに厚く御礼申し上げます。

当日、一の宮参拝会本部事務局代表世話人の塩

原輝昭先生にご出席をいただき、全国巡拝のことも貴重なお話を拝聴しました。

皆様のご協力を得て、快良くお参りが出来ましたことを御礼申し上げます。

「一の宮巡拝の記」  
塩原輝昭先生のプロフィール

一の宮巡拝会本部東京事務局長、伊勢神宮崇敬会・椿大神宮役員を努めておられます。

巡拝会報の「ある日の登拝に思う」の一文の中から転載いたします。

「ある日の登拝に思う」

十一月十九日は茨城県の筑波山登拝に行く。男体山から自然美を残す自然研究コースで展望所へ戻り小休後、女体山に登り多くの奇岩が点在する白雲橋コースで下山した。

筑波山神社に寄って宮司岩佐弘史様に久し振りにお会いし貴重な時間を過ごさせて頂く。境内社のご案内を頂き日枝神社の欄間に「見ざる・言わざる・聞かざる」三猿の彫り物が有り日光東照宮より以前の彫刻物である貴



重な彫り物をみせていただいた。筑波山にも神窟を巡る「禅定」と呼ばれる筑波山修験の行事がある事も知った。出羽三山をはじめ、那須山・八海山・甲斐駒ヶ岳・戸隠山等など今も各地に継承されている修験道が多く残っている事をあらためて知った二十九年でした。来たるべき平成三十年・戊戌歳が良き年となります様に山の神々様に祈りをして参りたいと思います。

一の宮巡拝会  
代表世話人 塩原 輝昭

三学戒

少なくて学べば壮にして為すあり。壮にして学べば老いて衰えず。老いて学べば死して朽ちず。

（佐藤一斎）

若い者の怠けて勉学せぬ者を見るほど不快なものはない。ろくな者にならぬことは言うまでもな



いが、まあまあよほどの  
ろくでなしでなければそ  
れ相応の志くらいはある  
ものである。

壮年になると、もう学  
ばぬ、学ぼうとせぬ者が  
随分多い。生活に追われ  
てだんだん志まで失って  
しまうのである。

そうすると案外老衰が  
早く来る。いわゆる若朽っ  
である。能く学ぶ人は老  
来ますます妙である。た  
だし学は心性の学を肝腎  
とする。雑学では駄目で  
ある。

細井平洲も敬重した川  
越在の郷長老、奥貫友山  
の歌に「道を聞く夕に死  
すも可なりとの言葉にす  
がる老いの日暮らし」と。



### 自分を責めよ

人間なにが悩みかとい  
うと、自分が自分を知ら  
ざることである。人を論  
じたりすることはやさし  
いが、自分を論じ、自分  
を知るということは、実

はこれが一番大事である  
にもかかわらず、なかな  
か難しいことである。

人間は、先ず自分を責  
むべきであって、世の中  
や時代を責むべきではな  
い。世の中が悪い、時代  
が悪いというのならば、  
そういう時世に対して、

いったい自分はどれだけ  
役に立つのか、それをど  
う解釈し、それに対して  
どういう信念・情熱を持っ  
ているのか、よく自分を  
責めるがよい。

### 日用心得

第一、毎日の飲食を適正  
にやっているか。

第二、毎晩よく眠れるか。

第三、自分の心身に影響  
を与えるような悪習慣は  
ないか。

第四、適当な運動をして  
いるか。

第五、日常生活上の出来  
事に一喜一憂しやすくな  
いか。

第六、精神的動揺があっ  
ても、仕事は平常通り続  
け得るか。

第七、毎日の仕事に自分  
を打ち込んでいるか。

第八、自分は仕事にどれ  
だけ有能か、自分は仕事  
に適するか。

第九、現在の仕事は自分  
の生涯の仕事とするに足

りるか。

第十、仮に自分の仕事が  
どうしても自分に合わぬ、  
自分の生活が退屈である  
とすれば、自分の満足は  
何によつて得るか。

第十一、自分が絶えず追  
及する明確な問題を持っ  
ているか。

第十二、自分は人に対し  
て親切か、誠実か。

第十三、自分は人格の向  
上に資するような教養に  
努めれているか。

第十四、特に何か知識技  
術を修めているか。

第十五、自分は何か信仰・  
信念。哲学を持っている  
か。

人間をみる八観法

一。通ずれば其の礼する  
所を観る

すらする上手く行きだ  
した時にどういうものを  
尊重するかを観る。

一、貴ければ其の進む  
所を観る。

地位が上がるにつれ、  
其の登用する人間が分か  
る。

一、富めば其の養う所を  
観る。

金が出来ると何を養いだ  
すか。

一、聴けば其の行う所を  
観る。

善いことを聞いたなら、そ

れを実行するかどうかを  
観る。

一。習えば其の言う所を  
観る。

習熟すればその人間の言  
うところを観る。

一、止まれば其の好む所  
を観る。

この「止」は板につくと  
いう意味。人間に仕事が  
できるようになると何を  
好むか。

一、窮すれば其の受けざ  
る所を観る。

貧乏した時に何を受けな  
いかを観る。

一、賤なれば其の為さざ  
る所を観る。

人間落ちぶれると何をす  
るかかわからない。だから  
為さない所を観る。

NPO通信

賛助会費として先の方々  
からご寄付を頂戴致しま  
した。(敬称略・順不同)

大澤瑤扇・佐藤宗眩・濱  
野延珠・高田玲照

「開運暦の講習会」が  
開催

日本占術協会の専務理事  
でもある佐藤宗眩先生が

「開運暦の講習会」を、  
情報オアシス神田セミナ  
ハウスにて講演されまし  
た。「開運暦の読み方」  
その秘訣」についてのご  
講義が好評を博し、有宵

会からも多数の方が参加  
されました。



### 鑑定会のご報告

◎「こどもは、みらい。  
みらいフェスタ2018」  
三月二十四日(土)

昨年に続き本年も、まっ  
ど市民活動サポートセン  
ター主催の「こどもは、  
みらい。みらいフェスタ  
2018」において、無  
料鑑定会を実施。今年は、  
東京を始めとした首都圏  
の桜が早くも満開になる中、  
晴天にも恵まれ、昨年来  
更に上回る一九一名の方  
からのご相談をいただき  
ました。

出演者 (敬称略・順不  
同) 安井淳子・手塚唯次・  
白土愛真・多田圭月子・  
須田三男・金子智佳子・  
神崎ひとみ・長澤光祐・  
凜百果・山崎守・左京充  
珠・濱野延珠



### 事務局だより

#### ◎次回の例会

日時五月二十六日(土)

午後一時十五分より

(終了後懇親会予定)

場所足立区勤労福祉会館

ブルミエ

#### 講演 占いの秘訣

福田有宵

#### ◎有宵会初参り報告

去る二月十三日(火)さ  
いたま市大宮区の「武蔵

一宮 氷川神社」にて初  
参り。武蔵国の鎮守勅祭

の社であり、須佐之男命、  
稲田姫命、大己貴命が御

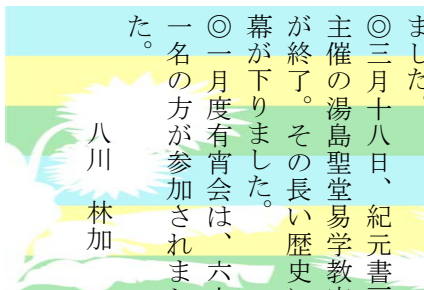
祭神です。九十二名の大大  
変多くの方にご参加頂き  
ました。

◎三月十八日、紀元書房  
主催の湯島聖堂易学教室

が終了。その長い歴史に  
幕が下りました。

◎一月度有宵会は、六十  
一名の方が参加されまし  
た。

八川 林加



### 編集後記

皆さま方からの  
ご意見または占  
例をお待ちいた  
しております。

編集長

